

佐賀市中央大通りの 未来ビジョン

ベビーカーを押したこども連れの家族が、ショッピングやイベントを楽しんだり、お洒落なカフェや緑あふれるポケットパークでくつろいでいる。
中央大通りを訪れながら育ったこどもたちが、大人になり、中央大通りにあるオフィスで働き、活躍することで、佐賀市の新たな活力を生み出していく。
中央大通りをそのような場所として、佐賀市の未来を担うこどもたちに引き継いでいく、そのためのビジョンをみなさんと共有し、その実現に向けて取り組んでいきます。



令和4年3月

エリアごとのビジョンと土地利用方針

AREA エリアA

佐賀の豊かさを享受する 街なかリーディング エリア

《求める役割》-----

- ・市民や来街者に佐賀の魅力を発信する
- ・市民や来街者に街なかの情報を伝え街なかや拠点エリアへ誘導する
- ・将来の夢(佐賀で働く)につなげる



AREA エリアB

唐人町のルーツが活きる 街なかリビングエリア

《求める役割》-----

- ・唐人町の歴史・街並み(青空・開放的)が活きる
- ・家族が楽しく快適に過ごせる
- ・小さな楽しみ(飲食、買い物など)が集まる
- ・日常的に活動が生まれる



AREA エリアC

憩いと育みが共存する 街なかネットワーク エリア

《求める役割》-----

- ・市民や来街者が憩い交流できる
- ・城内・松原エリアとの一体感がある
- ・佐賀の歴史・文化を受け継ぐ人材を育成する
- ・拠点施設との連携を図る



中央大通りのすがた



佐賀駅南口広場整備

【IBTOJIN茶屋跡地の再整備】

開催されるイベント



佐賀城下栄の国まつり



サガ・ライトファンタジー

沿革

エリアBのはじまり

1599年

- 来日朝鮮人の居住地として唐人町が形成
- 藩祖・鍋島直茂が「唐人町」と名付ける。

大正時代

- 国鉄佐賀線が開通(1921年)すると、馬車鉄道が唐人町から佐賀駅まで延伸され、中央大通りが駅と市街地を結ぶ役割を果たすようになる。

1959年

- 唐人町にアーケードが建設され、商店街らしい装いになる。

エリアCのはじまり

1965年

- 都市計画道路佐賀駅一中ノ館線が完成し、中央橋以南が開通
- 一般公募によって、愛称が「中央大通り」に決まる。

エリアAのはじまり

1976年

- 佐賀駅が200メートル北側の現在地に移転・高架化され、新駅から旧駅までの道路が供用開始される。

1989年

- サガ・ライトファンタジーが始まる。

1991年

- 県都の景観美化を図るため、中央大通りの電線地中化、歩道の拡幅を行い、シンボルロードが完成

現在の中央大通りを360°カメラで見よう

QRコードを読み込むと2022年の中央大通りの様子を360°自由に見ることができます。

QRコードは㈱デンソーウェブの登録商標です。

AREA エリアA

1976年以降発展

〈エリアの特徴〉

- 新しい区割りで広い土地が多い
- 比較的高層のオフィスビルが多い

AREA エリアB

1599年以降発展

〈エリアの特徴〉

- 古い区割りが残るため、狭い土地が多い
- 低層で古い木造建築物が多い

AREA エリアC

1965年以降発展

〈エリアの特徴〉

- 比較的広い土地が多い
- 中高層で比較的古い商業用・オフィス用のビルが多い



駅南口南交差点



唐人町まちかど広場



中央橋交差点



中の小路バス停付近



〈未来ビジョン〉

子どもたち シンボルロード
佐賀の“次世代”の成長とともにある「中央大通り」へ!

①～⑤の空間づくりに取り組みます。

1 子どもたちが自由に楽しく活動(遊び・学び)できる空間



2 子どもたちが家族とゆっくりと気軽に滞在できる空間



3 子どもたちが多世代との交流から多様性を学び育つ空間



4 子どもたちが大人になっても挑戦・活躍できる空間



5 子どもたちがいつまでも佐賀への誇りと愛着を忘れない空間



中央大通りへ
Let's Go!



AREA エリアA 佐賀の豊かさを享受する街なかリーディングエリア

〈期待される機能〉



情報発信機能
サイネージなど



人中心の交通手段
シェアサイクルなど



オフィス機能
多種多様な働く場



ワーカー向けの機能
カフェ、小公園など

〈土地・建物の活用方法〉

- 駐車場の有効活用の促進 (通り沿いの前面部分への機能誘導)

AREA エリアC 憩いと育みが共存する街なかネットワークエリア

〈期待される機能〉



憩い・交流の場
公園など



保育機能
保育施設、児童館など



人材育成機能
教育施設、学習スペースなど



新たな拠点
複合施設、拠点施設との連携など

〈土地・建物の活用方法〉

- 賑わい拠点の整備・誘導 ● 画地の集約化等の促進 ● 土地の高度利用の促進



AREA エリアB 唐人町のルーツが活きる街なかリビングエリア

〈期待される機能〉



商機能
飲食店・アパレルなど



活動・チャレンジの場
多目的スペース・コワーキング機能など



子育て支援機能
遊戯室、育児支援機能など



休憩機能
広場・緑地、トイレなど

〈土地・建物の活用方法〉

- 賑わい拠点の整備・誘導 ● 狭小地の集約・再編の促進 ● 駐車場配置の適正化
- リノベーション等の促進 ● “高さ”よりも“連続性”を重視

